

コミュニティバスはむらんネーミングライツの検討内容について

1 経過及び主旨

(1) 第六次羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会からの意見

「はむらん」の乗客数は平成 30 年度には年間 20 万人に達する見込みであり、市民の足として根付いたといえるが、第 3 次報告書において提案した車内広告が導入されたものの、ルート延長などに伴い経費が増加していることから、採算性においては向上していない。

そのため、採算性の向上に関しては、第五次懇談会から、バス停名称における「ネーミングライツ」の検討を行ってきており、今後、具体的に制度設計・制度整備を進め、速やかに実施していくことが望まれる。

(2) 令和元年度の経過

- ①ネーミングライツの導入についての調査研究
- ②行政改革推進本部会議の審査

(3) 実施の方向性についての意見

「第 2 回 第七次羽村市コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」において、内容や今後の方向性などについて、ご意見をお伺いし参考とさせていただきたい。

2 検討内容

(1) ネーミングライツの概要

① 目的

「はむらん」のバス停に応募者の希望する名称を命名することで、命名者が「はむらん」に愛着を持ち、「はむらん」の利用を促進できるとともに、親しみやすい名称のバス停として、「はむらん」が地域に密着し、地域で育てていくという機運を醸成する。

② 掲載場所等

バス停・時刻表・路線図・車内アナウンス

③ 命名できるバス停

公共性の高いバス停（羽村駅東口、保健センター、富士見小学校など）を除いた「はむらん」のバス停とする。

④ 審査

申し込みがあった場合、有料広告掲載審査委員会で審査を行う。

(2) 検討内容

	項目	ネーミングライツの実施	車内アナウンスの実施
1	主な内容	バス停・時刻表・路線図・車内アナウンスを変更	バス停等の変更は行わず、車内アナウンスにより応募者（事業者の紹介を行う）
2	応募見込者数	5事業者 ※H30年度アンケート調査において、ネーミングライツ検討の回答があった事業者数	5事業者 ※同左
3	歳入（収入）	命名料 200,000 円 40,000 円×5 事業者＝ 200,000 円 ※車内広告料年 36,000 円やアンケート結果より設定	アナウンス料 50,000 円 10,000 円×5 事業者＝ 50,000 円 ※同左
4	経費	1,290,000 円 ①バス停用シール 4,000 円×5 箇所＝20,000 円 ②時刻表作成費用 30,000 部×30 円×1.1＝ 990,000 円 ③時刻表全戸配布費用 280,000 円	アナウンス変更のみのため特になし。
5	メリット	バス停や時刻表に事業所（店舗）の名称が掲載されるので、宣伝効果がある。	①基本的に経費が発生しないので、費用対効果がある。 ②毎年更新することができる。
6	デメリット	現状では、収入より支出が多く費用対効果が無いいため、採算性の確保は望めない。	バス停や時刻表に事業所（店舗）の名称が掲載されないため、ネーミングライツと比較すると宣伝効果は低い。
7	備考	毎年バス停名を変更することは難しいため、複数年契約が必要。	